



市埋蔵文化財センター

☎ 23-8020

35

どきどき
たいむとらべらー

國分謙吉と デスモスチルスの歯の化石

先月、國分謙吉とデスモスチルスの化石の記事が新聞に載りました。謙吉と言えば、旧福岡町に生まれた初の民選知事で、「農民知事」として県民の敬愛を集めた人物です。「昨春、東大総合研究博物館で再発見された化石と添えられた手紙から、謙吉が日本のデスモスチルスの化石の最初の発見者と判明した」というものです。

国立科学博物館の研究主幹甲能直樹氏によるもので、氏は二戸市に親類がいたため謙吉を知っていたことから、今回の新解明に繋がりました。何か運命的なものを感じます。

手紙は謙吉から東京帝国大学教授宛

で、自分以外の所有する化石について、スケッチや産出場所、「じぶん（謙吉）のものよりも小さい」などの説明が書かれてありました。しかし一緒にあった化石の特徴とは異なっており、誰の化石なのか謎が残りました。その後、旧二戸郡病院長として明治政府の命で長州から赴任した国香彦介宛の、東京帝国大総長からの感謝状（1899年9月付）が二戸市史編さん室によって確認されました。国香氏からの化石寄贈への感謝状です。手紙の文脈から明らかに国香氏より早く化石を寄贈していた謙吉の発見が、これまで研究史上で最初と言われていた1897年を数年遡って国内初となるのです。

本市は国内屈指の化石の産地で、デスモスチルスの白歯や、同類のパレオパラドキシアの世界的標本といわれる骨格化石が発見されています。熱帯性動植物の化石も多数見つかっています。今回の発見で注目された二戸の宝は、謙吉が生まれ育った故郷を活気づけるために送ってくれた激励のタイムカプセルと言えます。



デスモスチルスの白歯

こみゅにていむたいむ

45杯目

地域づくりリーダー研修会

今回の「地域づくりリーダー研修会」では、地域づくりの活動や講演、研修会の講師をされている宮城大学の鈴木孝男氏を講師に迎え、町内会や常会が策定する「地域づくり計画」の果たす役割について学びます。

また、第2部では、市内の町内会による「地域づくり計画」の事例発表を行います。

現在計画づくりに取り組んでいる町内会・常会には参考になると思いますのでご参加ください。

日時 3月13日（日）午後1時30分～4時

場所 二戸地区合同庁舎

◎第1部 基調講演

「みんなで届けよう地域の声を！地域づくり計画の果たす役割」

講師 鈴木孝男 氏

（宮城大学 事業構想学部事業計画学科助教授）

◎第2部

・事例発表「地域づくり計画」2町内会

入場料 無料・定員 100人

どなたでも参加できます。多くの皆さまのご来場をお待ちしています。

【交付金のご請求をお忘れなく】

平成22年度の町内会等活動支援交付金について、草刈りやコミュニティ活動など、申請している事業が終了しましたらすみやかに請求をしてください。請求書・実績書の様式は決定通知書と一緒に送付しております。請求の際には写真や領収書など内容が確認できるものをご用意ください。（確認後お返しします）



請求書を無くされた草刈りなどにかかる交付金の申請はお早めには地域づくり推進課またはお近くのコミュニティセンター・地域担当職員にお知らせください。

例年、地域公民館等運営補助金を申請していて、今年度町内会等活動支援交付金の「コミュニティ活動交付金」「コミュニティ施設運営交付金」の交付申請をしていない地域公民館長は至急申請願います。

この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課（内線653）まで